

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第4回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和4年11月11日(金) 午前10時30分 開会・午後11時50分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	有賀健高 上田圭吾 岡崎洋志 小野吉雄 栗山三千代 河野真夢 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 竹内國雄 永井健一 三木敏正 村野裕子 森洋子
欠席委員(者)氏名	坂本蓉
説 明 者 の 職 氏 名	エコ・クリーン政策課(事務局) 主幹 松落義夫
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ収集回数 の見直しについて(答申)【案】 (2) 家庭ごみ収集回数 の見直しについて ① 前回資料の修正 ② 前回会議の整理 ③ ごみ種別ごとの収集回数 の見直し 4 事務連絡 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	2名
配 布 資 料	資料 ・【資料1】プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ 収集回数 の見直しについて(答申)【案】 ・【資料2】令和4年度第4回入間市廃棄物減量等推進審議会 資料 ・令和4年度第3回入間市廃棄物減量等推進審議会 会議録
事務局職員職氏名	環境経済部長 原嶋裕子 環境経済部次長 横田一洋 環境経済部エコ・クリーン政策課長 竹廣由美 環境経済部副参事(脱炭素・資源循環担当) 中村 慧 エコ・クリーン政策課 主幹 松落義夫、主査 村上俊、 主事 関根千紘 総合クリーンセンター 所長 小林正和、主幹 水村昌秋
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○議題

(1) プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ収集回数の見直しについて (答申)

【案】

資料1を用いて事務局より説明を行なった。

(2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ① 前回資料の修正
- ② 前回会議の整理
- ③ ごみ種別ごとの収集回数の見直し

資料2を用いて事務局より説明を行なった。

○その他

- ・今年度の審議会は今回で終了だが、循環型社会における情勢は目まぐるしく変化しており、今後新たに審議もしくは報告する案件が生じた場合は、審議会を開催する可能性がある。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 小林会長	1 開 会（配布資料の確認を含む。） 2 会長あいさつ 3 議題
小林会長	(1) プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ収集回数の見直しについて（答申）【案】 資料1を用いて事務局より説明を行なった。
齋藤委員	ただいま事務局の説明がございました。 11月18日に、会長と副会長で市長へ答申を渡す予定です。この答申内容について、ご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	4行目の「当市においても、来年度から～」という表現ですが、1行目に「令和4年度4月」とあるため、「来年度」の部分を「令和5年度」という表現にした方が良いのではないのでしょうか。行政の文章の書き方でこのような表現になっているということであれば、このままで結構です。 また、6行目の「なお、実施に際しては、自治会への説明～」とありますが、自治会だけではなく、「自治会等」とし、その他の団体にもよく説明をしていくという表現の方が良いのではないのでしょうか。
小林会長	1点目の「来年度」の書き方について、行政としての決まりはありませんので、審議会の中で決めてください。 2点目については、「自治会等」という表現にしたいと思います。 それでは、4行目の「来年度から」という表現を、「令和5年度から」という表現に変更するかどうか、ご意見をお願いします。 (意見なし) 特にご意見がないようなので、原案のとおり「来年度から」という表現で良いのでしょうか。 (異議なし)
三木委員	齋藤委員の2つ目の意見について、私は「自治会等への説明～」ではなく、「市民への説明～」が良いと思います。
岡崎委員	自治会の加入率は6割程度となってしまっていますが、それでも6割という数字はとても大きな数字であり、自治会に説明をすることは大きなことです。そこで、この表現の仕方は、「自治会をはじめとする市民への説明」と

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	するのはいかがでしょうか。 皆さん、いかがでしょうか。 (異議なし) それでは、6行目の表現は、「なお、実施に際しては、自治会をはじめとする市民への説明～」とすることとします。 念のため、事務局より変更部分の確認をお願いします。
事務局	1～5行目までの変更はなく、6行目以降の表現を、「なお、実施に際しては、自治会をはじめとする市民への説明や集積所への掲示等、市民が迷わず分別できるよう十分な周知に努めてください。」へ変更するということがよろしいでしょうか。
小林会長	このような表現でよろしいでしょうか。 (異議なし) では、確認したとおりの内容で答申書の書き方を変更します。 他に答申書(案)に対してご意見はありますか。 (意見なし) 特にご意見がないようですので、この内容で市長へ答申いたします。 続きまして、議題2家庭ごみ収集回数の見直しについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	(2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて ①前回資料の修正 ②前回会議の整理 ③ごみ種別ごとの収集回数の見直し 資料2を用いて説明
小林会長	ただいま事務局から説明がございましたが、P2ページのとおり目的の修正がありました。「収集事業者の働き方改革」については、前回近藤委員からご意見がございましたが、本日、収集運搬業でもある小野委員が出席しておりますので、小野委員からもご意見ををお願いします。
小野委員	弊社では、武蔵村山市の委託業務を行っています。土曜日が休みになり、週休2日になれば、働き方改革と業務改善になると思います。また、人材確保の面でもかなり問題が緩和されると思います。 私の経験で、武蔵村山市の可燃ごみの収集が週2回になるまでの時系列を簡単に説明させていただきます。約27年前の1995年9月まで、道路脇

発 言 者	発 言 内 容
	にダスト BOX があり、小型のクレーンを付けた車両で収集していました。分別は可燃ごみと不燃ごみの2分別だけでした。この時の収集体制は、市内を2分割し、月水金・火木土で週3回の収集をしていました。1995年10月から、BOX を全て撤去し、入間市と同様のパッカー車によるステーションでの収集となりました。この時から可燃ごみは週2回の収集となりました。今年10月より、戸別有料化を図り、各家庭を1件1件収集しています。それに伴い、増車増員が必要となりましたが、求人を出しても応募がほとんどない状態で、人材確保に非常に苦慮しています。様々な意味で改善が必要だと思われます。また、可燃ごみが週2日の収集になることで、家庭でゴミを保管している期間が長くなるため、市民はゴミをコンパクトにする努力をするようになります。しかし武蔵村山市は、ゴミの減量を図っていても、頭打ちになってしまったため、雑がみの収集に力を入れています。雑がみは紙袋に入れてステーションに出してほしいと周知していましたが、今は紙袋が手に入りにくいいため、紙袋が無い場合は、透明・半透明のビニール袋も認めています。 また、二十数年前の鎌倉市の話になりますが、焼却炉が老朽化し、建て替えをする話が出て、鎌倉市全域で紙のリサイクル率を高めるために啓発活動をした結果、現状はどうなっているかわかりませんが、焼却炉を建て替えずに済んだという話もあります。ゴミを削減していく方法はいろいろあると思うので、また何かあれば、経験値で意見を申し上げさせていただきます。
小林会長	ありがとうございます。ただいまの小野委員のご意見を聞いて、皆さんのご意見をお願いします。
小林会長	武蔵村山市で雑がみをごみとして出す際にビニール袋を使用しているとありましたが、収集に関して支障はないのでしょうか。
小野委員	自治体ごとに収集のスタイルは違うと思いますが、武蔵村山市では余剰車両を持たないように、パッカー車1台で新聞・雑誌・雑がみ・古布を全部収集します。荷下ろしをする古紙問屋がグループ会社のため、荷下ろし場所で分別の協力をしてもらっており、余剰車両を持たずにコスト削減ができています。入間市では今どこに集積をしているかわかりませんが、荷下ろし場所でかなり作業が必要となります。
永井副会長	武蔵村山市で可燃ごみの収集回数を週3回から2回へ減らした際に、市民の混乱があったと思いますが、どれくらいの期間で市民に馴染みましたか。

発 言 者	発 言 内 容
小野委員	分別の仕方については、そんなに混乱はありませんでしたが、回数が減ることに対しては、様々なご意見がありました。しかし、週2回になったらなくて、皆さん努力をしていたように思います。戸別有料になった今の方が辛いです。
永井副会長	それほど大きな混乱はなかったということでしょうか。
小野委員	そうですね。ごみは逃げないので、10トンあるものは3回に分けても2回に分けても10トンになります。そのため、少しでも紙ごみの削減を図ってもらったり、窓口で家庭用コンポスト（ミニ・キエーロ）を600個希望者に配布して、生ごみの堆肥化を図ったりしていました。
岡崎委員	雑がみに関して、総合クリーンセンターから配布されている、「入間市の家庭ごみの分け方・出し方」に、雑がみとはどういうものか書かれていますが、この書き方だと雑がみかどうかの判断がつかないごみがあります。文字だけだとどうしてもわからないことが多いため、映像やイラストは大切だと思います。雑がみ収集の効率を上げるには、市民に雑がみがどういうものか示していかないと、ごみは減らないと思うので、そういう資料を作っていただけなら、ありがたいです。
事務局	今の話は、P4のごみ種別ごとの収集回数の見直しの部分の話になります。ここでは、P2の目的の修正について、この修正内容で良いかご審議いただければと思います。
小林会長	ごみの削減や収集方法については、今後まだまだ議論を重ねていく予定ですので、その際にまた良いご意見を出していただきたいと思います。
栗山委員	プラスチックごみの一括回収のところで、先ほど答申書にあった、自治会に説明をする際に、雑がみのサンプルを用意して、雑がみとはこういうものであるということを説明会の場で示すことができれば、かなり伝わると思います。
小林会長	収集回数の変更についての周知方法については、資料2のP2にもありますように、1年をかけて手厚く説明をしていきます。
上田委員	資料P2の目的の修正について、前回の目的の中に、ごみの減量に対する意識の変容とありましたが、これが削除されています。前回審議会で意識の変容しかやらないのかという意見があったからだと思いますが、意識の変容の部分を削除した理由はありますか。
事務局	意識の変容も必要ですが、さらに進んで、実際にごみを減量していくこと

発 言 者	発 言 内 容
村野委員	を明確にするため、このように変更いたしました。 P 2 の目的の修正ですが、前回の審議会で出た意見が盛り込まれているため、この内容で良いと思います。
竹内委員	小野委員の実際の話がとても参考になったため、今後検討していく上で、そういった事例をたくさん教えていただけると、ありがたいです。
事務局	入間ケーブルテレビで、名古屋市のフルハシ E P O という会社が、工業団地の中に新しい会社を立ち上げ、バイオマス発電用の木材チップの製造を行うと聞きました。SDG s の先駆けとなる会社だと思います。入間市も、他市で取り組んでいないことを、だんだんと実施し始めていると思いました。
小林会長	もう一度、皆さんにお願いがあります。P 2 の目的の修正について、この内容で良いかのご判断をお願いします。
	P 2 の目的の修正については、この内容でよろしいでしょうか。 (異議なし) それでは、P 2 の目的の修正については、この内容で進めたいと思います。 次に、P 3 の前回会議の整理について、ご意見はございますか。 (異議なし) 異議なしということで、P 3 の前回会議の整理については、この内容で良いとします。 次に、P 4 のごみ種別ごとの収集回数の見直し(案)について、ご意見をいただきたいと思います。 まずは、可燃ごみの収集回数についてご意見ををお願いします。なお、地球温暖化対策やCO₂削減の観点から、有賀委員からご意見があればお願いいたします。
有賀委員	東京都は古布と紙類を別の資源ごみの日にして、3 日くらい収集がない日があります。その辺の工夫をされると、さらに収集日数を減らすことができるのではと思います。また、アメリカの事例ですが、1 日で全てのごみを収集しているところがあります。仕事が忙しい人は、毎日ごみを出すことが大変なため、収集回数を減らすということは、地球温暖化対策以外に、そういう人たちにとっても良いと思います。自治体の規模によってできることは限られてきますが、川崎市の事例を見ると、収集トラックが電気自動車で、充電もごみで発電した電気で行っているようです。

発 言 者	発 言 内 容
	ごみの収集回数を週５日にして、どれくらいのＣＯ₂が減らせるか調べたところ、横浜市は２．５％、千葉市は８％、川崎市は５．２％減ったそうです。理由としては、可燃ごみは臭うため、市民としてはたくさんごみを出したくないという思いがあり、少しでもごみを減らす考えになっているからだと思います。 相模原市が可燃ごみの収集を週３回から２回に減らす際、どうしても夏場は週３回集めてほしいという住民が多くいたため、１０月からスタートし、１年をかけて週２回の回収に慣れてもらうようにしていました。入間市も収集回数を減らす際、夏場のごみの臭いについての市民の反対の声に注意をしながら考える必要があると思います。
小林会長	ただいまの有賀委員のご意見を踏まえまして、皆さんにもご意見を伺いたいと思います。
村野委員	ごみの収集が有料になった場合、ごみの量が減ったといった事例はありますか。
有賀委員	文献を調べたところ、お金を取る場合は、金額を相当高くしないとごみの量が減る効果はないという研究もありました。そう考えると、有料化を導入する場合は、どれくらいの金額にするかをしっかり検討していかなければなりません。海外では、ごみ袋の金額が安いとごみの量は変わらないという研究結果があるため、ごみ袋の金額をとて高くしています。その辺についても議論をしていきたいところです。
河野委員	海外のごみ袋の相場はわかりませんが、日本ではとても高いごみ袋で、１枚１７８円という場所があります。それがすごく高いのか、それとも海外はもっと高いのか気になります。
有賀委員	アメリカのごみは戸別収集で、毎月いくらか払い、各家庭で３０リットルの大きいごみ袋に入る量を出しています。それ以上の量のごみを出す場合は、２，０００円程度のお金を払わないと出せないようになっています。ただ、戸別収集でないと違反をする人が出てくると思います。
齋藤委員	先程の、可燃ごみは夏場臭うという話ですが、私も何人かに可燃ごみの収集が週２回になったらどう思うか、聞いてみたところ、やはり夏の臭いについて心配の声がありました。生活をしていくうえで、臭いというものはとても重要なことです。そこでもう一度聞きたいのですが、収集を週３回から２回にする際、今までのパターンでは月・木・土曜日の収集でしたが、土曜日

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	をなくす場合、月曜日から木曜日の間の2日間と、木曜日から月曜日の間の3日間で、どちらがごみの量が多いのか、場合によっては月・金曜日の収集の方が良いのか、そういう検討はしているのかを教えてください。 そういった話は、これから皆さんのご意見をいただきながら進めていきたいと思います。
齋藤委員	もう一つ、P2の周知方法で、1年かけて地元説明会を実施していくとありますが、我々もこの説明会に1回でも参加させていただけると、市民の皆さんの意見がわかると思いますので、声を掛けていただきたいと思います。
小林会長	地元説明会をする段階になりましたら、事務局にはお声掛けいただきたいと思います。
上田委員	今回家庭ごみの収集回数については継続審議ということですが、働き方改革をするにあたっては、収集回数の見直しを早くスタートした方が良くと個人的には思います。回数見直しのスタートはいつ頃の予定か、スケジュールがあれば教えていただければと思います。
事務局	そのあたりも審議会の中で決めていただければと思います。
小林会長	次に、不燃ごみの収集回数についてご意見をお願いします。 (異議なし) 今のところはなしということで、次回以降ご意見ありましたら、またお願いします。 次に、プラスチック・ビニール類の収集回数についてご意見をお願いします。 (異議なし) こちらも今のところはなしということで、次回以降ご意見ありましたら、またお願いします。 次に、古布・紙類の収集回数についてご意見をお願いします。 (異議なし) こちらも今のところなしということで、次回以降ご意見ありましたら、またお願いします。 次に、ビン・缶・ペットボトル・有害ごみの収集回数についてご意見をお願いします。
三木委員	市外から転入してきた人へ、自治会では缶詰の缶と果物の缶の収集日が別ということの説明します。これは同じ曜日に収集することはできないのでし

発 言 者	発 言 内 容
事務局	ようか。 油が付着した缶詰はリサイクルできないため、不燃ごみとしています。果物やジュース等の油が付着していない物については、リサイクル可能ということでビン・缶・ペットボトルの日に出していただいています。リサイクルできるかできないかで分けています。
河野委員	油が付いていない缶は果物以外にたくさんあると思いますが、なぜ果物の缶だけがビン・缶・ペットボトルの日なのでしょう。
事務局	実際には油が付いているか付いていないかの判断ですが、例としてわかりやすいように果物の缶と記載しています。油が付いていない缶であれば、ビン・缶・ペットボトルの日に収集可能です。
小林会長	家庭ごみの収集回数の見直しについては、今後も引き続き当審議会で検討させていただきますので、次回以降の審議会でも活発なご意見を賜りますようお願いいたします。それでは、議事については以上となります。
司会	続きまして、次第4の事務連絡をさせていただきます。今年度の審議会は今回で終了となります。しかしながら、本日の審議会でご審議いただいた内容等も含めまして、市の環境情勢や循環型社会における情勢は、日々目まぐるしく変化しております。今後新たにご審議もしくはご報告するような案件が生じた場合は、審議会を開催する可能性があることをお含みおきください。 それでは最後に、次第5の閉会といたしまして、永井副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。
永井副会長	本日、プラスチックごみ一括回収についての答申がまとまりましたので、来週の金曜日に会長とともに、市長へ渡したいと思います。 家庭ごみの収集回数については、まだまだ議論する余地がありますので、これからも皆さんから意見を賜りながら、適切な方法を考えていきたいと思っています。 以上を持ちまして、令和4年度第4回入間市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。ありがとうございました。

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 4 年 / 2 月 / 2 日 議 長 の 署 名 <u>小林昌幸</u> 議長が指名した者の署名 <u>永井健一</u>	